



housodaigakuokayama

Instagramはじめました

フォローよろしく
お願いします

#HOUSODAIKAKUOKAYAMA



イチゴとの出会いと品種の変遷

放送大学岡山学習センター

客員教授 吉田 裕一

私が大学を卒業してから間もなく46年になります。生まれ育った京都西陣の町中は幼稚園のころは市電が走る大通りだけが舗装されてましたが、まだ本物のロバがパン屋の荷車を引いていました。小学生になるころ下水が通じると同時に家の前の道がアスファルト舗装になったことは今でも鮮明に思い出されます。

イチゴの思い出をたどってみると、家の前の舗装されていない道でビー玉ができなくなったころだったと思うのですが、買い物かごを提げて夕飯の買い物に出かける母に毎日のように着いて行き、八百屋の店頭で紙を敷いた木箱に並んだイチゴの記憶に行きつきます。そのころ口に入れることができたかどうかは定かではありませんが、高学年になったころには酸っぱいイチゴに砂糖と牛乳をかけ、スプーンでつぶしてたまに食べていたように思います。そのころ底が平たくイチゴの瘦果（いわゆる種）の模様がついた「イチゴスプーン」が売られていて、イチゴを食べたことより「うちにもあれば食べやすいのになあ」と思った記憶だけが鮮明に残っています。そのころ食べていた品種は兵庫県農業試験場宝塚分場で育成され、1964年に公表された‘宝交早生’であったのだらうと推測しています。

そこから私のイチゴに関する記憶は、1984年10月まで途切れてしまいます。この時大阪の高槻市にあった京大農学部附属農場に採用され、元奈良県農業試験場長で1970年に‘宝交早生’の促成栽培技術を作り上げた藤本浩平先生と巡り合うことができました。高槻農場で‘宝交早生’の栽培を一から教えていただき、続いて「君、これ、どうや？」と薦めていただいた「愛ベリー’の奇形果発生」を初めの課題として40年以上の研究生活を過ごしてきました。若造のころから続けてきたので若いつもりでいましたが、気が付けば50年を超えるイチゴの促成栽培の歴史の8割以上の時間かかわってきたこととなります。ちょっと唐突かもしれませんが、その間のイチゴ品種の変遷をマメ知識として紹介したいと思います。

高度経済成長の真っ盛りで、農業用ビニルが普及した1960年代には‘宝交早生’（兵庫県育成、以下同）や‘ダナー’（カリフォルニア大）を用いたイチゴの半促成栽培が急速に広がりました。そのころ冬季の生産を目的とする促成栽培は‘福羽’などの休眠が浅い品種を利用して行われ、首都圏に近い静岡県や神奈川県を中心とする暖地に限られていました。その後、断根ブラシによる花芽分化促進と電照とジベレリン処理による休眠制御とを組み合わせた‘宝交早生’の促成栽培技術が奈良県で開発されました。70年代にはいと急速に全国に普及し、80年頃には全栽培面積の50%以上を‘宝交早生’が占めて全国的にクリスマスケーキにイチゴが使われるようになりました。

90年頃には花芽分化が早くて食味・輸送性に優れる‘女峰’（栃木県）と‘とよのか’（農水省、野菜・茶試）がそれぞれ東日本と西日本を中心に普及して栽培面積の90%以上を占めるようになりました。その後は栃木県が育成した‘とちおとめ’が30%程度を占めてトップに君臨し、2000年以降に登録された‘さちのか’（農研機構）、‘さがほのか’（佐賀県）、‘紅ほっぺ’（静岡県）、‘福岡S6号’（あまおう）などが人気になりました。今では主産県の農業試験場と農研機構に加えて、国内外の民間企業や大学、個人による育種も盛んになり、全国的に流通している‘熊本VS03’（ゆうべに）、‘佐賀i9号’（いちごさん）‘栃木i37号’（とちあいか）に加えて産地限定のオリジナル品種が次々と発表されています。



contents

【巻頭言】イチゴとの出会いと品種の変遷	1
令和7年度第2学期 学位記授与式	2
卒業生からのメッセージ	2
名誉学生の称号付与について	3
岡山学習センター所属学生の受賞	3
令和8年度第1学期 入学生の集い	3
『学生生活の菜』電子化について	4
学生証の交付について	4
令和8年度第1学期スケジュール	4・5
令和8年度第1学期面接授業科目一覧	5

所長・客員教員による学習相談・ゼミのお知らせ	6
新任教員のご挨拶	7
退任教員のご挨拶	7
公開特別講座「津山特別セミナー」について	8
公開講座ゼミについて	8
公開講演会について	8
第48回赤レンガフォーラムのご報告	9
令和8年度赤レンガフォーラムのご案内	9
第3回若手世代学生の意見交換会・交流会	9
令和8年度第1学期スケジュール	10

令和7年度 第2学期 「学位記授与式」

ご卒業おめでとうございます



令和7年度 第2学期 「学位記授与式」
日時：令和8年3月22日（日）13：30～
会場：放送大学岡山学習センター6F 第2講義室

令和7年度 第2学期 卒業生

教養学部

岡野 亜依 奥山 和孝 嘉壽 幸子 金谷 奈緒子 小林 茂子
清水 美風 田主 晴江 花澤 秀文 原田 祥子 平田 美代子
平元 薫 藤井 美保子 藤原 浩 三宅 伸明 湯浅 恵子

大学院

竹島 潤 谷内 宏一 中村 幸枝

敬称略・50音順（教養学部34名、大学院3名のうち、了承を得られた18名の方のみ氏名掲載）

卒業生からのメッセージ

謝辞

教養学部 心理と教育コース 卒業生代表 清水 美風



柔らかな春の日差しが感じられるこの良き日に、ここに私達は放送大学卒業の日を迎えることとなりました。本日は、このような心のこもった式典をあげていただき、誠に有り難うございます。また、ご多忙にもかかわらずご列席いただきましたご来賓の皆様、田仲所長をはじめ諸先生方、並びにご関係者の皆様に、卒業生一同、心から御礼申し上げます。この場をお借りし、卒業生を代表いたしまして、お礼を述べさせていただきます。

私は、2022年4月に全科履修生として「心理と教育コース」に入学しました。大学受験が上手くいかず引きこもりの時期を経験し、中々前に進むことができずにいた私に母が勧めてくれたのが放送大学でした。

私は人間の心や行動メカニズムに興味があったので、心理と教育コースを選びました。初めのうちはレポートなどの提出物も期限間際に提出するのがやっとなりましたが、スマートフォンなどの気が散るものを別室に置き、環境を整えることで自分を律し、4年で卒業することを目指して学習に取り組みました。

放送大学には興味のある教科が多数あり、知りたいことを自分のペースで学んだ、充実した楽しい時間でした。

放送授業では、「錯覚の科学」が、大変印象に残っています。錯覚のメカニズムは心理学の様々な研究を通して明らかにされ、それらの研究成果を概観することで錯覚が私達の日常生活に与える影響について知ることができ、人の認知が持つ独特の仕組みを知ることが面白かったです。

オンライン授業では、心理と教育から少し離れて『日本語らしさ』とは何か』などを受講しました。不明な部分を残さないよう何度も講義映像を視聴し、理解を深めるよう努めました。私はこの授業で、日本語で生きる・

暮らすことの素晴らしさに気づき、更に日本語を愛おしく思うようになりました。

こうした機会に恵まれたのも、岡山学習センターをはじめ、多くの方々のおかげとっております。私の学びを支えて下さった先生方、学友、学習センターのスタッフの方々に感謝いたします。

放送大学の強みは、いつでも、どこでも、だれでも、自分のペースで好きな学問を学ぶことができることです。放送大学での学びと、その学習システムを通じて、自分自身と向き合い、成長する機会を数多く得ることができました。この4年間で得た多くの気づきや学びが、私の人生を豊かにしてくれるでしょう。また、その過程で多くの方々に支えていただいたことを改めて実感し、深く感謝しております。大学受験での挫折から自信を失っていた私ですが、放送大学と共に歩んだこの4年の中で現在の自分を取り戻し、こうして卒業の日を迎えられたことに大きな喜びを感じております。

卒業後は、病院で受付・クラーク・事務として働きます。病院の入り口を支え、患者さんと医療スタッフをつなぎ、患者さんの負担や不安を軽減させる存在になることが、私の夢です。通信制の放送大学で学習に励んだからこそ得られた「自分を律する」という強みを活かし、どんなときでも冷静に一人ひとりの患者さんに寄り添っていきたいと思います。

今後も放送大学での学びを社会に還元できるよう、それぞれの道で努力を続けると決意を新たに、放送大学と皆様の益々の御発展を祈念して、謝辞といたします。

名誉学生の称号付与について

このたび、2名の卒業生が教養学部全てのコースを終了されました。放送大学から「放送大学名誉学生」の称号が、放送大学岡山学習センターから表彰状と記念品が付与されました。謹んでお慶び申し上げます。



三宅 伸明さん
平成27年度第2学期 社会と産業コース
平成29年度第2学期 自然と環境コース
令和元年度第2学期 心理と教育コース
令和3年度第2学期 情報コース
令和5年度第2学期 生活と福祉コース
令和7年度第2学期 人間と文化コース

原田 祥子さん
平成16年度第2学期 生活と福祉専攻
平成28年度第2学期 人間と文化コース
平成30年度第2学期 心理と教育コース
令和2年度第2学期 社会と産業コース
令和4年度第2学期 自然と環境コース
令和7年度第2学期 情報コース

岡山学習センター所属学生の受賞

田畑 美和子さん、永瀬 洋子さん、山下 明美さんが、その優れた研究に対して令和7年度第2学期の優秀学生賞を受賞し、表彰式が行われました。3名の皆さん、おめでとうございます。

令和8年度 第1学期 入学生の集い



日時：令和8年4月12日（日）13：30～
会場：放送大学岡山学習センター6F 第2講義室
入学生279名（教養学部254名、大学院25名）のうち、あわせて66名（うち、オンライン出席者3名を含む）のご出席をいただきました。



『学生生活の葉』電子化について

2026年度から『学生生活の葉』は冊子での配布を終了しました。
「システム WAKABA → 学内リンク → 学生生活の葉」を確認してください。



学生証の交付について

「学生証」は、単位認定試験受験、図書・視聴学習室の利用、面接授業の追加登録の際などに必要です。学習センター窓口でお渡しします。郵送を希望される場合は、お問い合わせください。システム WAKABA に顔写真の登録手続きを行っていない方は、「写真票」（学生生活の葉の巻末様式、学部は様式 1 1、大学院は様式 1 0）に所要事項を記入のうえ、早めに本部学生課入学・履修係に提出してください。



令和 8 年度第 1 学期
新規入学・継続入学の方

入学許可書を提示

全科履修生
有効期限切れの方

有効期限切れの学生証と引き換え

* 詳細は【学生生活の葉】学部 P. 23~25 大学院 P. 35~38
【岡山学習センター利用の手引き】 P. 8 を参照

令和 8 年度第 1 学期学習スケジュール(予定)

教務からのお知らせ

4 月から 9 月までの学習スケジュールをお知らせします。

チェック欄を設けていますので、確認作業にご活用ください。

4
月

放送授業開始

【放送授業開始日】：4月1日(水)

テレビ・ラジオで全15回の放送授業が始まっています。

<オンライン授業を履修される方へ>

全ての学習をオンライン上で行います。

* 学期が始まったら、必ず、授業のページにアクセスし、課題、提出期間を確認して学習を始めてください。

『学生生活の葉』
(学 部：P.33~)
(大学院：P.50~)

面接授業追加登録

大きく分けて 1. 事前申請と 2. 先着申請の 2 通りあります。

1. 事前申請登録

【事前申請期間】 4月17日(金) 15:00から4月22日(水) 13:10まで
グーグルフォーム 郵送 窓口 で申請できます。

【事前申請当選科目の連絡日】 4月23日(木) キャンパスメールへ連絡

【事前申請授業料納入期日】 4月28日(火) 15:00まで

2. 先着申請

【先着申請期間】 4月23日(木) 15時から開講日の7日前まで先着順で申請できます。

* 2026年度第1学期より、面接授業・ライブWeb授業の追加登録には1科目につき200円の事務手数料が必要となります。(事務手数料は返金できません。)

『学生生活の葉』
(学 部：P.66~)

5
月

通信指導の提出

原則 WEB 通信指導による提出となります。

通信指導問題の確認は、システム WAKABA の「授業サポート→授業共有ファイル」にて

4月上旬より確認できます。

* WEB 通信指導による提出が困難な場合、4月15日(水)までに受験場所変更申請が必要です。

【通信指導提出期間】

WEB 通信指導による提出：5月7日(木) 10:00から5月27日(水) 17:00

郵送による提出の場合：5月13日(水)から5月27日(水) 本部必着

『学生生活の葉』
(学 部：P.68~)
(大学院：P.73~)

6
月

『単位認定試験受験資格の確認』で受験資格を確認してください。

<https://www.ouj.ac.jp/for-students/webshiken/guide/eligibility-check/>

「単位認定試験(受験票)」の郵送は、原則として廃止となります。

①【すべて自宅受験】の場合 → 受験票は郵送しません

②【すべて学習センター受験】の場合 → 受験票を郵送します

③【記述・併用のみ学習センター受験】の場合

→ 当該科目に記述・併用科目を受験する場合に限り受験票を郵送します



『学生生活の葉』
(学 部：P.75~)
(大学院：P.80~)

7
月

□ 単位認定試験 2026年7月14日(火) 9:00から始まります。

実施方法・出題形式により終了日時は次のとおり異なりますのでご注意ください。

* WEB受験について不安のある方は、学習センターにご相談ください。

【WEB試験終了日時】

択一式科目 2026年7月22日(水) 17:00まで

記述式併用科目 2026年7月18日(土) 17:00まで

【郵送試験終了日】

すべての出題形式 2026年7月18日(土)《必着》

『学生生活の葉』

(学 部:P.74~)

(大学院:P.79~)

8
月

□ 成績通知

【成績通知時期】：8月下旬

放送授業・面接授業・オンライン授業は、A~Eの6段階評価となります。

* A~Cが合格

確認方法 1. システム WAKABA「教務情報→履修成績照会」

2. 「成績通知書」「単位修得状況一覧(単位認定書)」の送付

『学生生活の葉』

(学 部:P.85~)

(大学院:P.88~)

□ 次学期の科目登録申請 ※ (卒業研究履修申請)

次学期に履修する授業科目は、前学期中に科目登録することになっています。

システム WAKABA または郵送のいずれか一つの方法によりご申請ください。

また、2027年度に卒業研究の履修を希望される方は、『卒業研究履修の手引き』をよく読んでください。

* 郵送の場合、いったん受付けた内容は追加・変更、取り消しはできません。

『学生生活の葉』

(学 部:P.63~)

(大学院:P.66~)

9
月

【システム WAKABA による申請期間】

2026年8月15日(土) 9:00から2026年8月31日(月) 24:00まで

【郵送による申請期間】

2026年8月15日(土) から2026年8月30日(日) (私書箱必着)

科目申請の後、「科目登録決定通知書」が送付されます。

放送授業・オンライン授業・面接授業の履修可能科目について記載されていますので、記載されている授業料を所定の期日(2026年9月30日)までに必ず納入してください。

* 9月中旬を過ぎてても到着しない場合、あるいは紛失した場合の連絡先

大学本部 (TEL: 043-276-5111 (総合受付))

令和8年度第1学期面接授業科目一覧

科目名	講師	開講日程
美術散歩10 一名画から絵本まで	泉谷 淑夫	4/18(土)
		4/25(土)
日本思想史研究の現場	本村 昌文	4/25(土)
		4/26(日)
言わないことが伝わるのはなぜ?	金子 真	4/25(土)
		4/26(日)
ルネサンスの社会史	河原 温	5/9(土)
		5/10(日)
地球環境の保全と微生物	上村 一雄	5/14(木)
		5/15(金)
心理検査法基礎実習	清水 光弘	5/16(土)
		5/17(日)
青少年問題の社会学	都島 梨紗	5/16(土)
		5/17(日)
理科・環境教材模擬実験	喜多 雅一	5/16(土)
		5/17(日)
岡山の近世城下町	尾島 治	5/23(土)
		5/24(日)
音と音楽への 情報学的アプローチ	仁科 エミ	5/23(土)
		5/24(日)

科目名	講師	開講日程
物流から見た日本経済	津守 貴之	5/30(土)
		5/31(日)
能・狂言入門	金関 猛	5/30(土)
		5/31(日)
心理学実験1	清水 光弘	6/6(土)
		6/7(日)
21世紀の国際教養	劔持 淑	6/20(土)
		6/21(日)
西洋舞踊史	川原 恵子	6/20(土)
		6/21(日)
Pythonによるアプリ制作	呂 建輝	6/27(土)
		6/28(日)
いじめに打ち勝つ憲法の ちから	中富 公一	6/27(土)
		6/28(日)
『源氏物語』 濡標巻を読む	田仲 洋己	7/4(土)
		7/5(日)
		7/11(土)
		7/12(日)
蔦谷重三郎と浮世絵の世界	大久保 範子	7/4(土)
		7/5(日)

【学習相談】

学習の方法や進め方・卒業研究履修希望者の事前相談など、修学上の諸問題について、所長・客員教員の先生方がマンツーマンで相談に応じます。※事前に学習相談日の予約、学習相談票の提出が必要です。

【「ゼミ」とは?】

客員教員の先生方が、専門分野のテーマに沿って開講する、少人数・双方向型授業です。講義を聴講するだけでなく、教材をもとにして質疑応答を交えながら学習を進めます。ゼミ生同士でディスカッションができ、コミュニケーション能力、議論の仕方や考えなどが身に付きます。各ゼミ5回を基本に構成されるため、通しでの参加が望ましいです。

(単位修得は出来ません。)

【「ゼミ開講」について】

- ◆対象者：岡山学習センター所属の在学生（学生の種類は問いません。）
- ◆受講を希望する学生は、日程・シラバス・準備物などを確認のうえ、ゼミ当日に岡山学習センターにお越しください。各ゼミのシラバスは学内掲示板及びウェブサイトに掲載。ゼミ開講場所は、学習相談室横のゼミ日程表を確認してください。
- ※日程等が急に変更となる場合もありますので、随時学内掲示板及びウェブサイトでご確認ください。
- ◆体調不良時にはマスク着用を推奨します。

【「閉講等変更」について】

閉講等変更のお知らせ等は、その都度ウェブサイトに掲載します。



たなか ひろき
田中 洋己 先生
岡山学習センター所長
岡山大学名誉教授
専門分野：日本文学

金曜

田中
所長
ゼミ

近代小説を読む
13:30~15:00 <全5回>
①4/24 ②5/29 ③6/26 ④7/31 ⑤8/28



かくた ひろき
加来田 博貴 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学薬学部研究教授
専門分野：医薬化学

日曜

加来田ゼミ

セルフメディケーションを学ぶ2026(1)
13:00~14:30 <全5回>
①4/19 ②5/10 ③6/14 ④7/12 ⑤8/9



けんもつ よし
剣持 淑 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学名誉教授
専門分野：英語・英文学

木曜

剣持ゼミ

V.ウルフ『ダロウェイ夫人』を読む
13:30~15:00 <全5回>
①4/30 ②5/21 ③6/25 ④8/6 ⑤9/10



さいとう のぼる
齋藤 昇 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学名誉教授
専門分野：動物生理学

水曜

齋藤ゼミ

からだを整えるホルモン入門
13:30~15:00 <全5回>
①4/8 ②6/17 ③7/29 ④8/19 ⑤9/16



ほりうち たかし
堀内 孝 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学文学部教授
専門分野：社会心理学、認知心理学

金曜

堀内ゼミ

記憶の認知心理学
15:00~16:30 <全5回>
①4/10 ②5/8 ③6/12 ④7/10 ⑤9/11



みやざき かずひと
宮崎 和人 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学特命教授
専門分野：日本語学

火曜

宮崎ゼミ

日本語文法を学び直す
13:30~15:00 <全5回>
①5/26 ②6/23 ③7/28 ④8/25 ⑤9/15



よしだ ゆういち
吉田 裕一 先生
岡山学習センター客員教授
岡山大学特任教授
専門分野：野菜園芸学

火曜

吉田ゼミ

野菜来歴と栽培
14:00~15:30 <全5回> (①のみ4/23(木))
①4/23(木) ②5/26 ③6/23 ④7/28 ⑤8/25



しみず みつひろ
清水 光弘 先生
岡山学習センター客員准教授
元川崎医療大学准教授
専門分野：発達心理学

木曜

清水ゼミ

子どもの発達における親子関係の役割
13:30~15:00 <全5回>
①4/23 ②5/28 ③6/25 ④8/20 ⑤9/17



たにくち しゅうこ
谷口 抄子 先生
岡山学習センター客員准教授
元岡山大学薬学部准教授
専門分野：生薬漢方薬学・薬用植物学

木曜

谷口ゼミ

漢方薬の使い分けを知る
14:00~15:30 <全5回>
①4/16 ②5/21 ③6/18 ④8/20 ⑤9/17

■ 新任教員のご挨拶 ■



しみず みつひろ
清水 光弘 先生 専門分野：発達心理学

2020年4月から2025年3月まで客員教員としてお世話になりました。今回、2度目の任期になります。前回の就任挨拶文が掲載された「赤レンガ」の松本俊郎前所長による巻頭言の題目は「異常事態の新年度を迎えて」でした。任期の前半はコロナ禍真っ盛りであり、戸惑いながら勤め始めたことを思い出します。

前回の任期で感じたことは、ゼミの準備の大変さでした。私の専門領域は乳幼児の社会情動的発達と親子関係です。テーマを絞れば内容が込み入る、射程を広げればどれも似たような話になりつまらなくなる。テキストを詳細に読み込んだり、心理臨床的な内容を入れたり、学術論文の読解に集中したりと、試行錯誤の5年間でした。自分が面白いと思ったことしか話題として提供できませんでした。学生さんもきっとそれを面白いと思ってくれるはずと期待して、今期のゼミにも取り組みます。どうぞよろしくをお願いします。

■ 退任教員のご挨拶 ■



いながき けんじ
稲垣 賢二 先生 専門分野：農芸化学

2021年4月から5年間客員教授として勤務して、3月末で任期を終えることになりました。岡山大学を定年退職する一年前から放送大学で客員教授を兼務することになったので、2022年3月に岡大を退職してからだとまる4年間となります。この間、田仲所長と松本前所長、歴代の事務職員の皆さん、客員教員仲間の皆さん、ゼミ生の皆さんに大変お世話になりました。この場を借りて感謝申し上げます。この5年間は放送大学勤務と並行してノートルダム清心女子大学の非常勤講師も務めてきましたので、ノートルダム清心女子大での若い学生への講義と、放送大学では、ひと味違ったやる気があり気持ちの若々しい学生さん達との学びは、とても新鮮なものでした。あっと言う間の5年間でした。最終年度の今年は特に忙しかった気がしています。通常の稲垣ゼミ、面接授業に加えて昨年夏の赤レンガフォーラムでの講演、赤レンガ巻頭言の執筆、岡山学習センター開設30周年記念誌への寄稿、センター開設30周年記念式典と祝賀会への参加、津山市立図書館と新見市との連携講座での講演などに続いて、2月の赤レンガフォーラムでも稲垣ゼミ生、3名が発表することになり、その準備に追われました。最後までゆっくりさせてもらえませんでした。その分充実した日々を過ごしたように思います。

4月からもう1年間は岡山大学特任教授を続けるつもりなので岡山大学農学部附属フィールドサイエンスセンター2階の研究室にほぼ毎日通います。また皆さんとどこかでお会いできるのを心から楽しみにしています。私も学びを続けたいと思っています。



きた まさかず
喜多 雅一 先生 専門分野：理科教育、国際教育協力

2021年4月、コロナ禍という前例のない制約の中で始まった放送大学での5年間、さまざまな制限がある中、月1回ペースのゼミでは、「身近なものを使って科学の本質に迫る」をテーマに活動しました。家でもできる簡単な実験として、野菜の電気伝導度の測定や、塩ビパイプを用いた「水の青さ」の検証、さらには算数パズルの作成や工作など、直接体験を通じた「目からウロコの落ちる体験」を重視してきました。DXの時代だからこそ、手で触れ、目で確かめることを大切にしたいです。学習相談も定期的に相談してくれる学生さんが数名いて、こちらも楽しむことができました。

図書館での講演テーマとして最初に、調査・報告したのは「コロナ禍における世界の学校の取り組み」でした。フィリピンやマレーシア、インドネシアなど、世界各地で模索されていた遠隔教育の現状は、日本の取り組みと遜色のないものでした。その後も、ICTやAIを活用した教育改革など、変化し続ける世界の教育動向を繰り返し題材とし、探究し報告してきました。

面接授業においては、ちょうどその当時携わってきたパプアニューギニア（PNG）での理科教育改善プロジェクトや、1880年にグラハム・ベルが発見した光を音に変える「光音変換（光音響効果）」、さらには複雑な現代社会の課題を読み解くための「システムダイナミックス（システム思考）」など、その時々の私の研究テーマを反映した講義を行いました。引き続き、次年度もドライラボの面接授業を行う予定です。

私自身、コロナ禍の気分転換に登り続けた熊山（おそらくクマはいません）の山歩きの楽しさを赤レンガに書かせていただきました。歩きながら自然の中で見つけるささやかな発見の楽しみも老化防止に良いと思っています。

最後になりますが、松本前センター長、田仲センター長はじめ、植田前事務長、久野事務長、事務職員の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

公開特別講座「津山特別セミナー」について 津山市立図書館 共催

広報からのお知らせ

津山市立図書館にて年6回の「津山特別セミナー」を開講します。放送大学岡山学習センター所属教員がそれぞれの専門分野から、受講される方々の興味や関心がある特定のテーマに絞ってわかりやすく講話します。在学生の方に限らず、一般の方も対象としています。以下に前期3回の日程等をお知らせしますのでぜひご受講ください。
・受講料：無料 ・定員：30名程度

日時	担当教員	専門分野	セミナー題目
5月9日(土) 13:30~15:00	清水 光弘 客員准教授	発達心理学	乳幼児心理学へのご招待
7月11日(土) 13:30~15:00	谷口 抄子 客員准教授	生薬漢方薬学 薬用植物学	漢方薬の成り立ち
8月23日(日) 13:30~15:00	劔持 淑 客員教授	英語・英文学	ギリシア神話とイギリス小説

▶再視聴施設「放送大学岡山学習センター津山教室」をご存知ですか。津山市立図書館内にあり、配架の放送授業DVD・CDを教室内で視聴することができます。近隣にお住いの在学生の方や、放送大学の授業に興味をお持ちの一般の方にご利用いただけます。図書館受付でお申し出ください。



公開講座ゼミについて 私たちの暮らしを支える微生物 ~楽しく学ぼう微生物の科学~

広報からのお知らせ

岡山学習センターで一般の方も参加いただける公開講座ゼミを開催いたします。在学生の方も、一般の方も対面での学びを体験してみませんか。

日程 各回 14:00~15:30

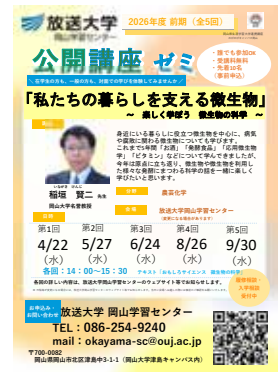
4月22日(水)、5月27日(水)、6月24日(水)、8月26日(水)、9月30日(水)

身近にいる暮らしに役立つ微生物を中心に、病気や腐敗に関わる微生物についても学びます。

これまで5年間「お酒」「発酵食品」「応用微生物学」「ビタミン」などについて学んできましたが、今年は原点に立ち返り、微生物や微生物を利用した様々な発酵にまつわる科学の話と一緒に楽しく学びたいと思います。



令和8年2月6日 酒類総合研究所見学の様子



公開講演会について 一今後の予定一

広報からのお知らせ

県内の図書館を会場に、一般の方も参加いただける公開講演会を開催しています。

日程	演題・講師	会場
▶5月10日(日) 13:30~15:00	性格のビッグファイブ理論 堀内 孝 客員教授	岡山県立図書館
▶6月21日(日) 13:30~15:00	認知バイアスの心理学 堀内 孝 客員教授	津山市立図書館
▶7月25日(土) 13:30~15:00	「沈黙の臓器」腎臓、あなたは大丈夫？ 齋藤 昇 客員教授	岡山県立図書館
▶9月5日(土) 13:30~15:00	薬用植物の利用あれこれ 谷口抄子 客員准教授	瀬戸内市民図書館
▶9月12日(土) 13:30~15:00	「沈黙の臓器」肝臓、あなたは大丈夫？ 齋藤 昇 客員教授	津山市立図書館

※詳細は、各図書館のウェブサイト、または、岡山学習センターウェブサイト（公開講演会）、学内掲示等でご確認ください。



※詳細は、岡山学習センターウェブサイトや学内掲示等でご確認ください。



令和7年度2月28日開催 瀬戸内市民図書館公開講座の様子



第48回赤レンガフォーラムのご報告

令和8年2月21日(土)放送大学岡山学習センター講義室において、第48回赤レンガフォーラムを開催しました。今回は、放送大学岡山学習センター客員教授の吉田 裕一先生による特別講演と、学生3名によるゼミの発表を行いました。当日は、多くの皆さまにご参加いただき大盛況となりました。ありがとうございました！

第1部 特別講演

「生物農薬・特定農薬の利用技術ー総合的有害生物管理 (IPM) を通じて「農業」を考えるー」
放送大学岡山学習センター客員教授 吉田 裕一先生 (専門：野菜園芸学)

第2部 学生発表ー稲垣ゼミ 微生物、発酵食品、ビタミンに関する学生発表ー

- ①「光合成する原核微生物、シアノバクテリアとは？」
- ②「先史時代から愛された食べ物ヨーグルトの魅力」
- ③「ビタミンD知られざるその実力」

教養学部 全科履修生 ①田畑 美和子氏 ②永瀬 洋子氏 ③山下 明美氏



第1部 特別講演 吉田 裕一先生



第2部 学生発表
① 田畑 美和子氏



第2部 学生発表
② 稲垣先生と永瀬 洋子氏



第2部 学生発表
③ 山下 明美氏

令和8年度赤レンガフォーラムのご案内

放送大学岡山学習センターでは、毎年夏と冬に2回、学生と教職員相互の学びのための行事赤レンガフォーラムを開催しています。本年度の日程は下記になります。

【第49回 赤レンガフォーラム】

日時 令和8年8月8日(土) 13:30～ 会場：放送大学岡山学習センター6階 講義室

内容 第1部 特別講演

「ニワトリの生物学から日本における文化的位置づけの変遷」

【講師】 放送大学岡山学習センター客員教授・岡山大学名誉教授 齋藤 昇 先生
(専門：動物生理学)

第2部 学生発表

「卒業研究を振り返ってー詩人永瀬清子の実生活と詩精神ー」

【発表者】 教養学部 全科履修生 生活と福祉コース 山本 幸子氏

【第50回 赤レンガフォーラム】

日時 令和9年2月20日(土) 13:30～ 会場：放送大学岡山学習センター6階 講義室

内容 第1部 特別講演

【講師】 放送大学岡山学習センター所長・岡山大学名誉教授 田仲 洋己 先生 (専門：中世和歌文学)

第2部 学生発表 [発表者] 未定

※詳細が決まりましたら、岡山学習センターウェブサイト、館内掲示、まなびー通信等にてお知らせいたします。



学生支援プロジェクト

「第3回若手世代学生の意見交換会・交流会」を開催しました！

実施日：令和8年3月21日(土) 13:30～15:00 会場：放送大学岡山学習センター 6階 第3講義室

放送大学岡山学習センターでは、30歳以下の在学生を対象に、「第3回若手世代学生の意見交換会・交流会」を開催しました。今回は8名の方にご参加いただきました。

冒頭、所長が会の開催趣旨や自己紹介を行い、その後、参加者の自己紹介。学び方の自由度や将来の夢を実現するために働きながら大学卒業資格を得たいなど、放送大学への志望動機などを教えていただきました。

後半のフリータイムは、「最近食べたおいしいもの」「最近やらかしたこと」「自分を動物に例えるなら？」といったソフトな話題から始まり、モチベーションを保つための方法についての情報交換なども。若者が一緒に勉強したり交流したりできる場を定期的に設けてほしいという意見も挙がり、また職員からは岡山大学の図書館利用ができることなどのご紹介も行いました。皆さま最初は少し緊張されていたものの、お菓子を食べながら、徐々に和気あいあいとした雰囲気で行進しました。

今回の機会がこれからの学びの参考になれば大変嬉しいです。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



スケジュール

諸般の事情により、予定した行事が延期または中止になることがあります。今後の予定変更は、岡山学習センターのウェブサイトでご確認ください。

4 APR.	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

- 4月**
- 1日(水) 放送授業開始
 - 3日(金) オンライン授業開始
 - 12日(日) 入学生の集い
 - 17日(金) 面接授業空席発表・事前申請受付開始
 - 22日(水) 面接授業事前申請受付締切
 - 23日(木) 面接授業先着申請開始

5 MAY.	月	火	水	木	金	土	日
					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

- 5月**
- 1日(金) ライブWeb授業開始
 - 2日(土)、6日(水) 臨時閉所
 - 7日(木) 通信指導提出開始 (Web)
 - 9日(土) 津山特別セミナー
 - 10日(日) 県立図書館連携講座
 - 13日(水) 通信指導提出開始 (郵便)
 - 27日(水) 通信指導提出締切 (Web・郵便)

6 JUN.	月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

- 6月**
- 10日(水) 令和8年度第2学期学生募集開始 (第1回)
 - 13日(土) 若手世代学生交流会
 - 14日(日) Web試験操作体験会
 - 21日(日) 津山市立図書館連携講座

7 JUL.	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

- 7月**
- 11日(土) 津山特別セミナー
 - 14日(火)~22日(水) 単位認定試験 (本部必着)
 - 25日(土) 県立図書館連携講座

8 AUG.	月	火	水	木	金	土	日
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

- 8月**
- 2日(日) 大学説明会 (オープンキャンパス)
 - 8日(土) 赤レンガフォーラム
 - 12日(水)~14日(金) 臨時閉所
 - 15日(土) 大学院出願受付開始 [修士・博士]
科目登録申請受付開始
 - 23日(日) 津山特別セミナー
 - 25日(火) 大学院出願受付締切
 - 30日(日) 科目登録申請受付締切 (郵送)
 - 31日(月) 科目登録申請受付締切 (Web)
令和8年度第2学期学生募集締切 (第1回)

9 SEP.	月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

- 9月**
- 1日(火) 令和8年度第2学期学生募集開始 (第2回)
 - 5日(土) 瀬戸内市民図書館公開講座
 - 9日(水) 令和8年度第2学期学生募集締切 (第2回)
 - 12日(土) 津山市立図書館連携講座
 - 27日(日) 学位記授与式

※カレンダーの 部分は閉所日です。

岡山学習センターの開所時間

区分	曜日	センター事務室	図書室・学修スペース
通常期間	火~日	(午前) 9:30~12:00 (午後) 13:00~18:00	9:30~18:00

12:00~13:00は休業 事務室業務・電話対応は行いませんので、ご注意ください。

閉所日

- 毎月曜日と国民の祝日に関する法律に定める祝日及び休日
- 本年度の年末年始休業は、12月28日(月)~1月4日(月)
- 臨時閉所日・・・センターカレンダー記載のほか、災害等により臨時閉所することがあります。

令和8年4月1日付で、川口克己事務長、石谷周布子事務職員、杉本尚予事務職員が着任しました。